



Mogami Region Vacant House Utilization Forum

最上地域空き家活用

フォーラム

地域の未来を考える

ライフスタイルと

新しい



令和7年

2/7

ご自由にご参加ください

金

参加無料

14:00～(開場 13:30～) / 定員200名

開催場所 / 東北農林専門職大学交流棟大講堂
(〒996-0052 山形県新庄市角沢1366)

新型コロナウイルス感染症を契機に、働き方、暮らし方、住まい方が大きく変わろうとしています。テレワーク等の普及により、地方での豊かな自然や生活環境に生活しながら、都市との関わりを持つ二地域居住など、新たなライフスタイルの拡大により地方への人の流れが生まれ、地域活性化が期待されます。

最上地域の豊かな自然や特色を活かした移住や二地域居住、災害時の避難住宅など、様々な空き家活用の可能性を模索しながら、地域の未来を考えてみませんか。

[【詳細は裏面へ】](#)



共催：山形県、一般社団法人温故知新、最上地域空き家活用促進協議会

後援：国土交通省東北地方整備局、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村

記念講演

「地域力を高める二地域居住のすすめ」



国土交通省国土政策局地方政策課
地域づくり活動推進官

酒井 達朗氏

【略歴】

1984年 名古屋市生まれ
2010年 国土交通省入省 都市局、航空局、道路局、米仏留学等
2017年 総合政策局公共交通政策部交通計画課長補佐
2019年 山形県企画振興部総合交通政策課長
2021年 山形県みらい企画創造部企画調整課長
2022年 国交省に戻り、海上保安庁警備救難部刑事課長補佐
2023年 大臣官房人事課長補佐
2024年7月より現職

地方への人の流れの創出・拡大に有効な二地域居住等を促進する改正広域的域活性化基盤整備法が令和6年秋に施行しました。併せて、全国二地域居住等促進官民連携プラットフォームが立ち上がるなど、官民挙げて二地域・多拠点居住を推進する動きが始まっています。国・地方や民間それぞれが取り組みを進めている状況を解説します。



事例紹介

「空き家を活用した移住支援について」



高知県梶原町
まちづくり産業推進課地域振興係

魚濱 聡海氏

高知県の山間部にある人口3,200人の梶原町。町が空き家を改修してサブリースする事業を展開し、H15からR5年までに約240人が移住しました。空き家所有者の負担なしで空き家の改修・耐震化・水洗化、固定資産税免除などを行い、移住者を強力に呼び込むための複合的な施策について紹介します。

活動報告

「最上地域空き家活用促進協議会の取り組み」

山形県最上総合支庁建設部建築課

永井 智子氏

県と最上地域8市町村が空き家活用促進協議会をR6年9月に発足しました。協議会設立の背景と今後の展望について説明します。

一般社団法人 温故知新

八鍬 淳氏

山形県空き家対策エリアマネージャーとして認定を受け、R6年度国交省の空き家対策モデル事業の採択を受けて実施している取り組みについて報告します。

タイムスケジュール

14:00 開会

14:10 記念講演

14:50 事例紹介

15:30 活動報告

16:00 閉会



お問い合わせ先



最上総合支庁建設部建築課

〒999-0002 山形県新庄市金沢大道上2034 / TEL 0233-29-1418 / MAIL ymogamikenchiku@pref.yamagata.jp



メールはこちら